

2022年7月22日

独立行政法人 国際協力機構（JICA）が発行する
「ピースビルディングボンド（平和構築債）」への投資について

協栄信用組合は、このたび、独立行政法人国際協力機構（理事長：田中明彦、以下「JICA」）が発行する「ピースビルディングボンド：平和構築債（ソーシャルボンド）」への投資を決定しましたので、お知らせします。

JICA は、日本の政府開発援助（ODA）を一元的に実施する機関として開発途上国への国際協力を担っており、JICA による債券の発行は、日本政府から SDGs（持続可能な開発目標）を達成するための具体的施策の一つにも位置付けられています。

本ピースビルディングボンド（ソーシャルボンド）により調達された資金は、JICAの実施する有償資金協力事業のうち、紛争・内戦により影響を受けた（受けている）国・地域等に対する人道支援、紛争後の復興・復旧、紛争の発生・再発防止・平和の促進等を支援する新規および実施中の事業に充当される予定です。

今後も適切なリスク管理のもとで、同様の投資を継続的に実施していき、収益性の確保のみならず、社会的使命・役割を十分に実施して参ります。

<本債券の概要>

債券名	第 66 回国際協力機構債券
年限	10 年（2032 年 7 月 22 日償還）
発行総額	110 億円
利率	0.374%

JICA の平和構築に係る取組みは以下のサイトからご覧いただけます。

<https://jicamagazine.jica.go.jp/>